

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 観光振興課長 堀江 隆典 | 電話番号 | 0852-22-6298 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|--|------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 県立観光施設管理運営事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 施設利用者 | |
| | (2) 意図 | 快適に施設を利用していただき、満足してもらう | |
| 事業概要 | 宍道湖の眺望施設、休憩施設として、より多くの方に利用いただけるよう施設内の設備や植栽等の維持、管理を適切に行う。 | | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------|-----------------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 1 | 指標名 | 施設利用者数 | 目標値 | 192,000.0 | 195,500.0 | 199,000.0 | 202,500.0 | 人 |
| | 式・定義 | 総水道使用料 / 1人当たり水道使用推定量 | 取組目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | 188,336.0 | | | | |
| 2 | 指標名 | | 目標値 | | | | | |
| | 式・定義 | | 取組目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | - | - | % |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|--------------|-------|-------|
| 事業費 (b) (千円) | 3,442 | 3,464 |
| うち一般財源 (千円) | 3,297 | 3,314 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|----------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ③改善策を検討中 |
|---------------------|----------|

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・快適に利用いただけるよう施設内の植栽の剪定、除草作業などを定期的に行っている。 (剪定作業1回/年、芝生管理作業4回/年、草刈り・除草作業2回/年) ・安全に利用いただけるよう施設内の設備の安全点検などを定期的に行い、必要に応じて改修等を実施している。 (安全点検12回/年、H27年は2カ所修繕) |
|---|

6. 成果があったこと (改善されたこと)

| |
|---|
| 施設の管理運営を適切に行うとともに、設備の破損等が生じた際には迅速に対応し、利用者の利便性・満足度の向上に繋げている。 |
|---|

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

| |
|---|
| <p>①困っている「状況」</p> <p>より多くの方に利用いただけるよう施設内の設備や植栽等の維持、管理を実施するなど適切な運営管理を行う必要がある。定期的な安全点検 (12回/年) を実施しているが、破損等の発見・確認が遅れることもある。</p> |
| <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>設備等の状況を把握し、快適に利用いただける状態を保つためには、現行の定期的な点検頻度のみでは困難である。</p> |
| <p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>施設内設備の安全点検等の実施回数を増やすことによって、より迅速に状況を確認し、必要な修繕等を行う。</p> |

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

| |
|--|
| 利用者の利便性と安全性を確保し、より多くの方に利用いただけるよう、定期的な安全点検に加えて、破損等が予測される場合 (強風、大雨、低温等) には適宜点検を行うことによって、施設内の設備や植栽等の状況を的確に把握し、必要な修繕等を迅速に対応する。 |
|--|

9. 追加評価 (任意記載)

| |
|--|
| |
|--|

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。